

# 予算特別委員会

## 各委員が 新年度予算を問う！

平成27年度の町づくりに使われる一般会計、5特別会計、企業会計を合わせた7会計の運用について審査する特別委員会が設置されました。委員長に沼澤道也議員、副委員長には栗田保則議員が選出され、3月9日、10日の2日間の日程で行われました。

8人の委員（議長と委員長を除く）が地方創生への対応や現状解決への方策など、今後の町政を質し、10日午後の本会議で全会計を原案のとおり可決しました。

以下、質疑と回答の要旨です。



沼澤道也 予算特別委員長

## 通園助成事業の 全額補助は

矢口政一委員

**問** 少子化対応が国政でも重要課題とし、町においても「新子育て推進プラン」を策定し予算化されているが、一部行政区では子どもの医療費等を全額補助するところもあるが、町としてはどう考えるか。

**答** 町長 平成26年度の出生見込みが41人となっており、ここ数年では最も多くなっている。子育てに対する支援の効果が出てきているのではないかと考えている。

金山らしい方法で「産み、育てやすい」環境づくりなど、様々なあると思うので、引き続き内部で精査して取り組んで行きたい。

**答** 伊東健康福祉課長 無料化の件の試算で

は、保育料全額で3800万円ほどになり、現在は町補助1300万円、他補助780万円、残りが保護者負担となっているため、完全無料の保育料とするには、1740万円ほどの追加補助が必要となる。

**その他の質問**

- 多面的機能支払交付金の財源の違いは
- 東北自動車道の今後と道の駅設置は
- スクールバス運行費の中身と中学生対応



めごたま入園式

## 雪下ろし基準を 設定すべきでは

早坂 憲明 委員

**問** 今年も大雪であった。町道の除雪には出動の作業基準がある。一方、雪下ろしについては基準がなく、広報等で安全な作業を呼び掛けているが、「ぼす

と」の雪下ろしを委託された業者から屋根の雪が多く危険であり、もう少し早く発注してほしいとの話があった。人命にかかわることなので雪下ろし基準を設定してはどうか。

**答** 町長 今冬の特徴は、降りはじめの雪が例年になく多かった。町では、豪雪対策本部



「ぼすと」の雪下ろし

をいち早く立ち上げ、安全な除雪作業の呼びかけをした。緊急課長会議などで施設管理の指示もしたが、12月に雪下ろしをされた方も多く、雪下ろしをする方が不足していた。屋根の雪下ろしは、個々の状況により基準も異なるため、防災会議等で検討し、安全安心の確保、適切な時期の雪下ろしを心がける。

**問** 人が作業をするので事故が起きてからでは遅い。危険予知を大事に早めに基準の整備をお願いする。

**その他の質問**

- 認定こども園改築計画の経緯は

## アキレス(株)の 従業員募集は

今井 康夫 委員

**問** 町民にとってアキレス社の誘致は大きな期待として、受け入れられていて、私の子ど



アキレス本社展示場で伊藤社長から説明

も働かせてみたいという人もたくさん聞いているが、従業員の募集はいつごろから始まるのか。現在の進行状況も含め報告願いたい。

**答** 町長 現在土地の所有者と交渉し、各関連機関と国道整備について進めている。雪どけが始まったら造成工事を行い、建物建設も

進めていく。平成28年1月操業を予定しているが、募集時期等についてはまだ決定していない。会社とも話をしているが、町内の方の雇用をお願いしたいと考えている。

**その他の質問**

- 空き家対策への対応
- 元気健康プランの具

## 家庭育児支援金と 木育の考え方は

寒河江 宏一 委員

**問** 子育て環境の整備は、国策でも重要政策となっているが、育児支援事業での家庭育児支援金や木育はどのような考えのもと出てきた事業なのか。また、木のおもちゃは金山杉を利用したものと思うが、具体的プランはどうなっているのか。

**答** 須賀 教学課長 先般の新・かねやま子育て応援プランの中にあるものを事業化したものである。プランの作成には2ヶ年を要し、家庭教育委員会等で検討した今後5年間の家庭教育を考えていく計画で、今年度も5回の議論を経て策定された計画である。このプランの中で平成27年度において推進すべき事業として挙げられたもの